

## Nutanix Enterprise Cloud on PRIMERGY 設定変更手順書

### 本書について

本書は、Nutanix Enterprise Cloud on PRIMERGY (以降、Nutanix on PRIMERGY)の設置と電源ケーブル接続後、クラスタを構築開始する前に工場出荷されてきた状態から、最初に設定変更が必要な箇所について説明します。

### 対象のモデルについて

本書の対象のモデルは、以下になります。

- XF1070 M2
- XF3070 M2
- XF8050 M2
- XF8055 M2

### 本書の表記について

#### ■ 重要な注意事項の一覧

本書に記載している重要な注意事項は以下のとおりです。



ヒント

概念の理解や操作の手助けとなる情報であることを示しています。



注

概念の理解や操作における注意事項であることを示しています。



警告

正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、当該製品自身またはその他の使用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。

#### ■ 変数： <xxx>

使用環境に応じた数値/文字列に置き換える必要のある変数を表します。

例： <IP アドレス>

### 設定に必要な機材

本設定で必要な機材は、以下になります。事前に準備してください。

- キーボード
- ディスプレイ
- クライアント端末

# 1. Nutanix on PRIMERGY の BIOS 設定

工場出荷時は全ての Nutanix on PRIMERGY に同じ iRMC の IP アドレスが設定されています。  
設定対象の Nutanix on PRIMERGY の BIOS 画面より一台ずつ、個別の iRMC の IP アドレス設定をしてください。

Nutanix on PRIMERGY に、キーボード、ディスプレイを接続してください。



注

- 全ての Nutanix on PRIMERGY に同一の IP アドレスが設定されているため、この時点では Nutanix on PRIMERGY とスイッチは接続しないでください。

## 【手順】

1. BIOS セットアップ画面を開き、[Main]を選択し、System Date/System Time を UTC(日本時間-9 時間となる日時)に設定します。
2. [Server Mgmt] - [iRMC LAN Parameters Configuration] を選択し、[Enter] キーを押下します。
3. 次のように設定します。

設定項目	設定値
Management LAN	<Enabled>
iRMC IPv4 LAN Stack	<Enabled>
IP Configuration	<use static configuration>
IP Address	当該 Nutanix on PRIMERGY の iRMC の IP Address を設定してください。
Subnet Mask	当該 Nutanix on PRIMERGY の iRMC の Subnet Mask を設定してください。
Gateway Address	当該 Nutanix on PRIMERGY の iRMC の Gateway Address を設定してください。
iRMC IPv6 LAN Stack	<Disabled>

4. [Esc] キーを押し、前のメニューに戻ります。
5. [Advanced] - [CPU Configuration] を選択し、[Enter] キーを押下します。
6. 次のように設定します。

設定項目	設定値
Override OS Energy Performance	Enabled
Energy Performance	Performance
Package C State limit	C0

7. [Esc] キーを押し、前のメニューに戻ります。
8. [Advanced] - [Memory Configuration] を選択し、[Enter] キーを押下します。
9. 次のように設定します。

設定項目	設定値
Sub NUMA Clustering	Disabled

- 
10. [Esc] キーを押し、前のメニューに戻ります。
  11. [Save & Exit] タブを選択し、[Save Changes and Reset] を選択します。
  12. [Save & reset] 画面で [Yes] を選択します。  
BIOS 設定画面が完了したら、Nutanix on PRIMERGY の電源を停止します。
  13. すべての Nutanix on PRIMERGY で手順 1~12 を繰り返します。

設定完了後、Nutanix on PRIMERGY をネットワークケーブルで、お客様のネットワークスイッチに接続してください。

## 2. Nutanix on PRIMERGY の設定

「1. Nutanix on PRIMERGY の BIOS 設定」で設定した iRMC の IP アドレスを使用して、各 Nutanix on PRIMERGY の iRMC に接続します。ここでは、iRMC のパラメーターを構成します。

作業に使うクライアント端末を、Nutanix on PRIMERGY とネットワークスイッチに接続されているネットワークに接続してください。クライアント端末から、iRMC Web インターフェースへアクセスしてください。iRMC Web インターフェースのデフォルト・ログインは以下のとおりです。

項目	入力値
Web ブラウザの URL	https://<iRMC の IP アドレス>/
ユーザー名	admin
パスワード	admin



### ヒント

iRMC Web インターフェースにアクセスするブラウザは、最新のブラウザが必要です。以下のバージョンがサポートされています。

- Microsoft Internet Explorer バージョン 11 以降
- Microsoft Edge の全バージョン
- Google Chrome バージョン 57 以降
- Mozilla Firefox バージョン 40 以降

### 2.1. iRMC Local Accounts

iRMC Web インターフェースで使用されるデフォルトの [admin] アカウントのパスワードを、お客様が決められたパスワードに設定する必要があります。

#### 【手順】

1. iRMC Web インターフェースにアクセスします。
2. [EULA] 画面が表示された場合、[Accept] をクリックします。
3. iRMC Web インターフェース画面から、  
[Settings] - [User Management] - [iRMC Local UserAccounts] - [admin] - [Edit] を選択します。
4. [User Information] タブが選択されていることを確認し、以下のように設定して、[OK] を選択します。

設定項目	設定値
Enable User	オン
Name	admin
Password	お客様が決められたパスワード
Confirm Password	お客様が決められたパスワード

### 2.2. iRMC DNS 設定

#### 【手順】

1. iRMC Web インターフェースにアクセスします。
2. iRMC Web インターフェース画面から [Settings] - [Network Management] - [DNS] を選択します。
3. 以下の設定を行って、[Apply] を選択します。

設定項目	設定値
Enable DNS	オン (デフォルト)
DNS Configuration	オフ (デフォルト)
DNS Domain	お客様環境でご利用の Domain 名
DNS Search Path	お客様環境でご利用の Domain 名
DNS Server 1	お客様環境でご利用の Domain Server (Primary)
DNS Server 2	お客様環境でご利用の Domain Server (Secondary)
DNS Server 3	空欄 (デフォルト)
DNS Retries	2 (デフォルト)
DNS Timeout	5 (デフォルト)

## 2.3. iRMC NTP 設定

### 【手順】

1. iRMC Web インターフェースにアクセスします。
2. iRMC Web インターフェース画面から [Settings] - [Baseboard Management Controller] - [Time Synchronization] を選択します。
3. 以下の設定を行います。

設定項目	設定値
Time Mode	"NTP Server"
RTC Mode	グレースアウト(デフォルト)
Time Zone	装置設置場所に準じた Timezone を設定してください。
Primary NTP Server	お客様環境でご利用の NTP Server (Primary)
Secondary NTP Server	お客様環境でご利用の NTP Server (Secondary)

4. [Apply] - [NTP Update] を選択します。

## 2.4. ネットワークの確認

### 【手順】

1. iRMC Web インターフェースにアクセスします。
2. iRMC Web インターフェース画面から [System] - [Network] を選択します。
3. 接続した Management LAN/Backplane LAN/Payload LAN に使用する全てのネットワークインタフェースの MAC アドレスを記録します。

		MAC アドレス
ネットワークカード 1	Port 0	
	Port 1	
ネットワークカード 2	Port 0	

		MAC アドレス
	Port 1	
ネットワークカード 3	Port 0	
	Port 1	
ネットワークカード 4	Port 0	
	Port 1	



ヒント

Nutanix on PRIMERGY で利用可能なネットワークアダプタは以下の 3 種類です。

該当するネットワークカードの MAC アドレスを記録してください。

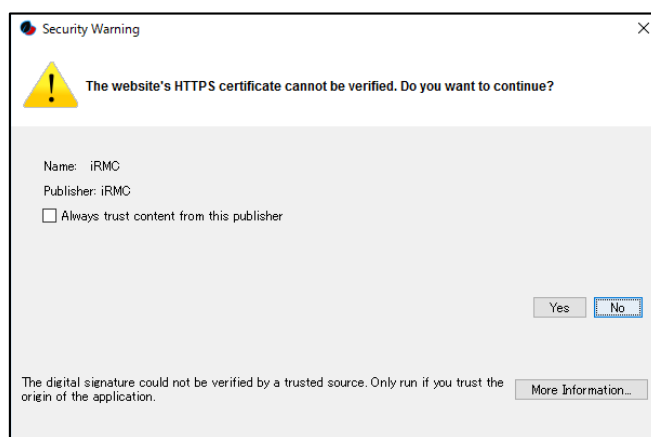
搭載しているネットワークアダプタは、構成によって異なります。

- X550-T2
- 710-DA2
- MCX4121A-ACAT

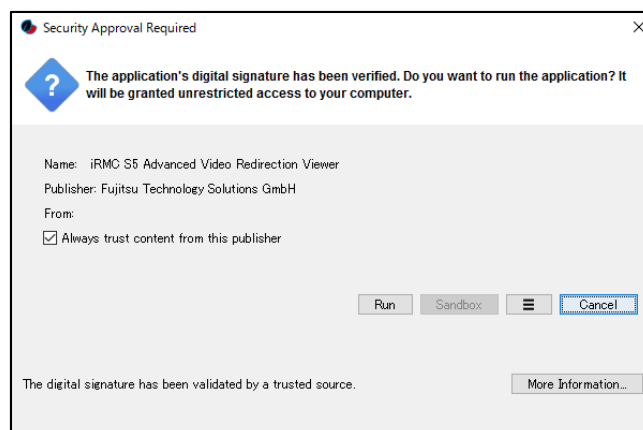
## 2.5. OS の設定

### 【手順】

1. iRMC Web インターフェースにアクセスします。
2. iRMC Web インターフェース画面から [Start Video Redirection] をクリックし、ビデオリダイレクションを起動します。
3. 下記のように実行します。
  - a. [Security Warning] のメッセージが表示されたら、[Always trust ...] にチェックを入れ、[Yes] を選択します。



- b. [Security Approval Required] のメッセージが表示されたら、[Always trust ...] にチェックを入れて、[Run] を選択します。



4. 次のような画面が表示されるので、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインします。  
デフォルトは次の通りです。

項目	入力値
ユーザー名	root
パスワード	nutanix/4u



注

OS が起動していない場合は、Nutanix on PRIMERGY の前面の電源スイッチを押して、OS を起動させてください。

```
Nutanix AHV
HOST-1 login: _
```

ログインができるとプロンプトが表示されます。

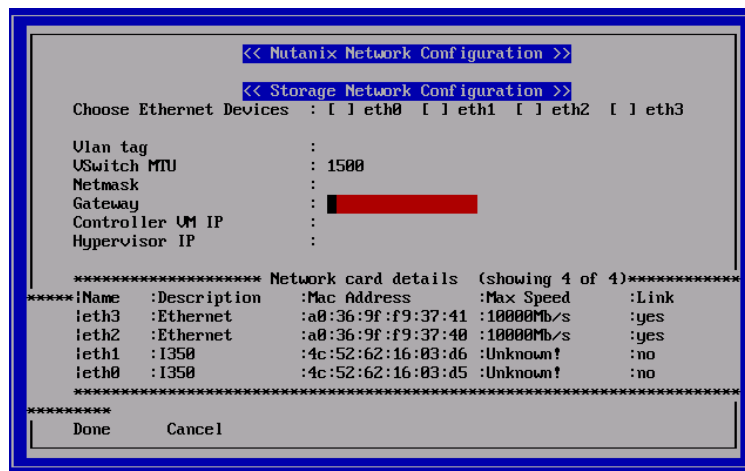
```
root@ahv#
```

5. 次のコマンドを実行します。

```
root@ahv# /root/nutanix-network-crashcart/network_configuration
```

6. 次の画面が表示されるので、[Network card details] に表示されているネットワークインタフェースから、「2.4 ネットワークの確認」で記録した MAC アドレスと同じ値を持つ [Name] を全て確認します。  
[Choose Ethernet Devices] の確認した全ての [Name] にチェックを入れ、以下の設定を行います。

設定項目	設定値
Vlan tag	(空欄)
VSwitch MTU	1500 (デフォルト)
Netmask	「1. Nutanix on PRIMERGY の BIOS 設定」で設定した、当該 Nutanix on PRIMERGY の iRMC の Subnet Mask を設定してください。
Gateway	「1. Nutanix on PRIMERGY の BIOS 設定」で設定した、当該 Nutanix on PRIMERGY の iRMC の Gateway Address を設定してください。
Controller VM IP	当該 Nutanix on PRIMERGY の Controller VM の IP を設定してください。
Hypervisor IP	当該 Nutanix on PRIMERGY の Hypervisor の IP を設定してください。



7. [Done] を選択し [Enter] キーを押します。  
画面が切り替わり、実行結果が表示されます。最後の行に以下が出力されていることを確認してください。  
"INFO Network configuration successful!"
8. 次のコマンドを実行し、ログアウトします。

```
root@ahv# exit
```

9. ビデオリダイレクションを終了します。
10. クライアント端末から、設定した Controller VM IP や、Hypervisor IP に ping コマンドを発行して、疎通確認をしてください。  
確認ができない場合は、再度、手順 1. から実施してください。
11. すべての Nutanix on PRIMERGY で「2. Nutanix on PRIMERGY の設定」の作業を実施します。

以上で、クラスタ構築前の設定変更は終了です。



## 付録 A : 論理ドライブ番号について

Nutanix on PRIMERGY の論理ドライブ番号と Prism 画面の論理ドライブ番号が異なります。

Nutanix on PRIMERGY の論理ドライブ番号と Prism 画面の論理ドライブ番号の対応は以下のとおりです。

Nutanix on PRIMERGY の 論理ドライブ番号	Prism 画面の 論理ドライブ番号
0	1
1	2
2	3
3	4
4	5
5	6
6	7
7	8
8	9
9	10
10	11
11	12

Nutanix on PRIMERGY の 論理ドライブ番号	Prism 画面の 論理ドライブ番号
12	13
13	14
14	15
15	16
16	17
17	18
18	19
19	20
20	21
21	22
22	23
23	24